

令和8年度 岐阜県高次脳機能障がい支援養成研修カリキュラム

<基礎研修>	<p>◆対象：全ての障害福祉サービスの新人・若手職員等</p> <p>◆研修のねらい：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害福祉サービスの対象となる高次脳機能障害者について知る。 ・ 高次脳機能障害者の障害特性を理解し、日常的な支援での対応方法を習得する。
--------	---

		時間	科目	内容
I 講義		360		
	高次脳機能障害支援者基礎研修とは	40	基礎研修の趣旨説明	本研修の対象となる障害・研修の構成
	高次脳機能障害とは		障害の定義	高次脳機能障害の定義・Q&A・各論の紹介
	高次脳機能障害の診断・評価	40	障害特性の理解	典型画像と経過・症状の現れ方
	病院で行うリハビリテーション			問診・神経心理学的評価 【日常生活で気づくこと・留意すること】
				医学的リハビリテーション 病院から地域へ 【診断書のポイント・地域支援体制】
	失語症とコミュニケーション支援	40	失語症とコミュニケーション支援	失語症と具体的な対応の要点
	制度利用	40	制度利用	障害者手帳と総合支援法サービスを中心に
	相談支援	40	地域におけるリハビリテーション	情報収集とアセスメント
	自立訓練	40		自立訓練（生活訓練・機能訓練）における支援の取組
復職・就労移行支援	40	障害福祉施設及び障害者雇用施策における取組		
生活と支援の実際	40	就労継続支援B型事業所の例から		
II 演習		360		
	障害特性の理解－症状のみかた	90	検査・評価体験	「順唱」や「半側空間無視」等の体験（注意や記憶の働き等の理解） MMSE/WAIS など、基本対応
	障害特性に応じた支援	90	退院時の実際 情報収集とアセスメント	課題提示
				グループ検討・発表 解説・質疑
	自立訓練の実際	90	自立訓練の実際	課題提示
グループ検討・発表 解説・質疑				
復職・就労移行支援	90	復職・就労移行支援	課題提示	
			グループ検討・発表 解説・質疑	

令和8年度 岐阜県高次脳機能障がい支援養成研修カリキュラム

<実践研修>	<ul style="list-style-type: none"> ◆対象：サービス管理責任者、相談支援専門員などの高次脳機能障害者支援の経験者等 ◆研修のねらい： <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携（チームアプローチ）の重要性を理解する。 ・高次脳機能障害者の支援の短期的な方向性（個別支援計画等）を立てることができるようになる。
---------------------	--

	時間	科目	内容
I 講義	320		
	40	障害特性に応じた支援	地域における高次脳機能障害の支援体制
	40		認知症・発達障害との共通点と相違点
	40	ライフステージに応じた支援	小児期発症の高次脳機能障害の特徴／復学支援
			各ライフステージにおける高次脳機能障害の特徴／支援
	40	チームアプローチの重要性と支援の原則	地域連携とチームアプローチ
	40	家族（きょうだい）支援・当事者家族会の活動	高次脳機能障害者家族支援
	40	コミュニケーション支援（地域生活・職場での支援）	失語症・高次脳機能障害によるコミュニケーション障害の理解
	40	支援の実践的な枠組みと記録	支援の実践的な枠組み・プロセス／アセスメント票と支援の手順書の理解／記録方法
40	自動車運転再開支援評価・手続き	高次脳機能障害者の自動車運転支援に関連する法制度、運転評価、課題や留意事項などの理解	
II 演習	360		
障害特性の理解と対応方法	180	1.障害特性の理解と対応方法 2.障害特性とアセスメント	高次脳機能障害者の心理と対応法の理解
			障害特性に基づくアセスメント
			グループワーク（障害特性の把握と対応方法のディスカッション）
			対応方法演習（ロールプレイ）
環境調整による支援と記録に基づく支援の評価	180	1.環境調整の考え方と方法 2.記録の収集と分析	グループワーク及び発表（対応方法の振り返りと支援計画検討）
			強みや好みを活かす視点
			環境調整の考え方
			環境調整の方法
			行動の記録の方法
			記録の整理と分析
			再アセスメントと手順書の修正
			チームアプローチを学ぶ（個別支援計画作成演習）
グループ検討／まとめ			